



(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会

2023年10月1日

神奈川支部

〒231-0026 横浜市中区寿町1-4

支部ニュース

かながわ労働プラザ 7F

Tel・Fax 045-633-3618

日本労働安全衛生コンサルタント会は、
労働者の安全衛生水準の向上に寄与することを目的にしています。

発行責任者
吉久 功三

目次	○ 支部長挨拶 P1	○ 支部総会報告 P2	○ 情報交歓会 P2	○ 特別講演会開催 P3
	○ 事業部報告 P3	○ 総務委員会報告 P5	○ 研修委員会報告 P6	○ 会長功績賞表彰の受賞 P7

令和5年度神奈川支部定期総会 4年ぶりにワークピア横浜で開催

吉久支部長 挨拶



日頃は支部活動にご協力をいただき大変ありがとうございます。支部長になって4年目に入りましたが、この3年間はコロナと共に来たようなもので、支部活動が制限される中での活動でした。しかしながら皆様のご協力により何とか支部活動を停滞させることなくきています。改めてお礼を申し上げます。

昨年度は本部監査と本会機関誌のインタビュー等で本部幹部の方とお話しをする機会があり、コロナ禍での他支部の活動状況を聴きましたが、どの支部もコロナ禍で苦勞されているように感じました。このような中で神奈川支部は東京支部に次いで活発な活動ができています。数字的にみても、コロナ禍で繰越金を食いつぶすことなく、コロナ前約650万円でしたが、今年の支部総会時点では約850万円と約200万円増えています。

令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症が、第2類から5類に変更され、コロナ感染が無くなったわけではありませんが、世の中の動きは、ほ

とんど以前と変わらない状況となってきました。したがって今年度の支部活動としては、コロナ禍前と同じような活動をしていきたいと考えています。具体的には支部研修会を対面で実施します。ただし、オンラインでの参加を希望される方もいますので、対面とオンラインの併用により多くの会員の方に研修会に参加をお願いします。研修会の後は本格的に情報交換会を再開し、参加者のコミュニケーションを活発化していきます。特に新しく入って来た会員が早く独り立ちできるよう先輩のコンサルタントからのアドバイスの機会としたいと思います。

今年度は第14次労働災害防止計画(第14次防)の初年度に当たります。昨年までの労働災害の傾向を見ると死亡災害は減っていますが、休業4日以上災害は減っておらず、ここ数年は増え続けています。特に行動災害に起因する転倒災害や高齢者の労働災害が減っていません。第14次防では具体的取り組みの中に自発的に安全衛生対策に取り組む自己啓発として労働安全衛生コンサルタントの活用が盛り込まれています。これまでは労働安全衛生コンサルタントの活用という文言が使われたことはありませんので、労働災害を防ぐために我々コンサルタントの活躍が期待されている表れだと思えます。このような期待に応えるためにはコンサルタント個人個人がレベルアップすることが必須だと考えます。私もコンサルタントになって10年余りですが、コンサルタントの資格を持っていてもすぐには何をすれば良いかわからず先輩の先生方に指導を受けながら経験を積むことによりやっと一人前に

なることができました。特に昨今は定年が65歳まで延長されたことにより、支部の事業部に入ってくる年齢が高齢化しています。何事をするにも最低3年はかかりますので、定年後から始めると、うかうかしていると70歳が直ぐきます。これから定年後はコンサルタント活動をしたいと考えている人は60歳を過ぎたら会社に勤めながらで構いませんので、事業部会に入って支部の研修会等に参加して先輩の方から話を聞いて勉強することをお勧めします。

神奈川支部では75歳を過ぎても元気でコンサルタント活動をしている先輩の先生が多くいます。このような諸先輩の先生を目標に頑張りましょう。

支部定期総会開催報告

令和5年6月16日(金)神奈川支部定期総会が、令和元年度以来4年ぶりに「ワークピア横浜」で開催されました。

開催に先立ち、鈴木事務局長より、支部規定第8条第5項(正会員の3分の1以上で成立)に対して、会場参加者32名、オンライン参加者6名、委任状40名、議決権行使29名の合計107名で、正会員177名の3分の1(60名)以上となり、総会が成立したことが報告されました。

総会は、田村常任幹事の司会で始まり、吉久支部長の挨拶に引き続いて審議に入りました。

第一号議案(令和4年度事業報告に関する件)及び第二号議案(令和4年度収支決算に関する件)の審議が行われ、参加者全員の挙手、議決権行使者全員の賛成により承認されました。

引き続き、報告事項(令和5年度事業計画に関する件)、報告事項(令和5年度収支予算に関する



件)について、審議が行われ、全員賛成の拍手により、報告事項が確認、承認されました。

総会全体の報告、説明に関して、次の質疑回答が行われました。

〔質問〕:令和5年度は新入部員の教育に力を入れていくとの説明がありましたが、依頼案件が減少している中で、支部としてどのような教育を考えられていますか。(加藤会員)

〔回答〕:昨年度は公募案件が27件あり、選任されたコンサルタントに新人等が一人付いていくように配慮しています。今年度も同様のことを考えており、厚生労働省委託事業である化学物質リスクアセスメントについても、未経験者が経験者に付いていき、教育の場とすることも進めていきたい。

情報交歓会の開催

総会終了後、16時30分より、大塚常任幹事の司会により情報交歓会が開催されました。吉久支部長の挨拶に続き、森山前支部長の乾杯が行われ、4年ぶりの情報交歓会が始まりました。会員相互の歓談、交流などで久しぶりの懇親を深めました。さらに、中村元支部長と青嶋邦彦会員の近況報告もあり、大変盛り上がりましたが、竹内副支部長の中締めにて、閉会となり、令和5年度の神奈川支部定期総会は、つつがなく終了しました。



定期総会に先駆け 神奈川県労働局による特別講演会を開催

恒例となっておりました神奈川県労働局の特別講演が、定期総会に先駆け4年ぶりに開催されました。講師は、神奈川県労働局労働基準部安全課の主任地方労働安全専門官西村恭一様ならびに健康課長の畑野俊様のお二人にお願い致しました。

最初に主任地方労働安全専門官西村様より、令和5年度より始まった第14次労働災害防止計画の概要(神奈川県計画を中心に)、令和5年度神奈



《主任地方労働安全専門官西村恭一様》

川労働局重点施策(安全関係を中心に)、第96回全国安全週間等について講演を頂きました。

次に、健康課長畑野俊様からは、令和5年度神奈川県労働局労働衛生行政のあらましについて、神奈川県下における労働衛生の現状、労働衛生行政の重点施策、労働者の健康確保対策の推進等について講演を頂きました。



《健康課長畑野俊様》

事業部会報告

副支部長・事業部会長
藤原 政志

昨年度から引き続き令和5年度の事業部会長の職務を担当している藤原政志です。事業部会メンバーも昨年と同様です。副部会長に大塚重男常任幹事、メンバーとして矢崎麻純常任幹事、田村紀裕常任幹事、田中敏夫幹事、久富美紀子幹事、山下和雄幹事の7名体制で「事業部会運営要領」に沿って活動を推進しています。

① 公募件数の推移

支部に相談があり公募対象となった受託業務の直近4年間の推移を、「図-1」に示します。

2020年度は26件、2021年度は23件、2022年度は27件、8月末時点の件数は、2020年度は12件、2021年度は16件、2022年度は9件、そして

今年度は9件です。今年度末には、昨年と同様に27件を見込んでいます。

今年度の公募案件の概要を「表-1」に示します。今年度の活動目標として、収入に関しては特別部費150万円を確保するため、昨年度は2件あった安全衛生管理特別指導業務が1件のみのため、公募案件の一層の充実が求められています。

具体的な活動内容では、労働安全衛生法令の改正に伴い発生すると考えられる化学物質の自律管理、石綿に関する事前調査、テールゲートリフター等に関する法令対応が事業者から要求されるため、これらについても事業部会として営業活動に繋がられるようにしたいと考えております。

石綿関係に関しては、技能講習等の講師をすでに行っております。化学物質の自律管理に関しては、化学物質管理責任者選任時研修の1日コース及び2日コースの講習の依頼が来ております。テールゲートリフターの特別教育に関しては、現在相談

者と諸条件に関して打合せを行っています。
これからも様々な機会を通じて、労働安全コンサ

ルタント、労働衛生コンサルタントの活用をアピールしていく所存です。

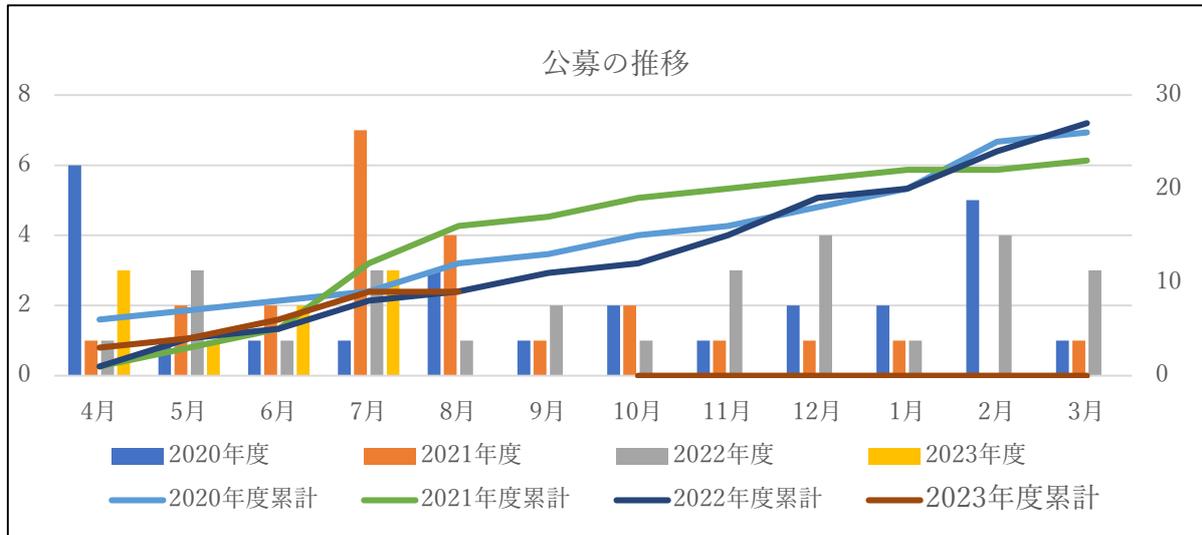


図-1 公募の推移

NO	依頼者の業種等	依頼内容
1	行政機関	受動喫煙に関する相談、技術指導等
2	製造業(研究所)	研究者に対する安全衛生教育
3	コンサルタント会社	化学物質の無料訪問支援活動
4	製造業(自動車等)	労働安全衛生体制の構築と運用管理
5	運送業、倉庫業	作業手順書の整備及び実務作業への指導業務
6	ISO 認証企業	化学物質管理者講習講師
7	電池製造企業	届出設備の確認業務
8	製造業	局所排気設備の設置に関して、設計各社との調整業務
9	建設業	事務職、現作業員に対する消防法に基づく危険物に関する教育
10	交渉中:テールゲートリフターの特別教育の講師	

表-1 公募案件の概要

② 新入部員の研修等

以前の話になりますが、第12次労働災害防止計画の重点施策として、労働災害が多発している第三次産業の小売業、社会福祉施設、飲食店の労働災害を削減する活動が計画され、コンサルタント会本部が厚生労働省から「安全衛生診断業務」を受託し、神奈川支部も労働局から紹介された事業場をベテランコンサルタントと未経験者がペアになって訪問する機会がありました。この活動では、安全衛生法に定められた安全衛生管理体制の整備と安全衛生委員会等の実施事項を书面やヒアリン

グで確認し、職場の不安全状態や不安全行動等をパトロールや現地観察等により確認し、問題点と改善について提案することで、相談者とのコミュニケーションを図り、確認できた事実を報告書にまとめることを経験することができました。しかし、第13次労働災害防止計画ではこのような活動計画がないため、研修委員会が主催する「新入部員研修」を行いました。

今年度は、実務研修として「令和5年度 ラベル・SDS活用促進事業」において事業場を訪問して、化学物質のリスクアセスメントの進め方について、

ベテランコンサルタントが未経験者を教育する機会を設けています。

コンサルタント業務は、蓄えられている知識を依

頼者に理解してもらえるように提供することであり、その経験の場をしっかりと提供できるように配慮しています。

総務委員会報告

副支部長・総務委員長

赤松 由通

総務委員会における主たる業務に「定例会議の開催」がありますが、今年度のこの業務活動もオンライン併用の開催を予定しています。令和5年6月16日に開催しました支部定期総会も対面とオンライン併用の開催となりました。なお、中断していた支部研修会は再開する予定です。今年度は、年度末までに、6回開催しますので積極的な参加を希望します。研修会は、対面とオンライン併用となりますが、今年度からは参加費用として、3,000円/回

をお願いしています。

総務委員会としての「①オンライン併用による定例会議」、「②支部財政の見通し」、「③総会その他の業務に関する支部活動報告」、「④支部ホームページ運用管理」について報告します。

①オンライン併用による定例会議について

定例会議は、Zoomによるオンライン併用の会議方式で開催いたします。

常任幹事会、幹事会において承認済ですが、常任幹事会(7回開催)、幹事会(4回開催)の日程を「表-2」に示します。

令和5年7月8日(土)	第1回常任幹事会	
7月22日(土)		第1回幹事会
9月2日(土)	第2回常任幹事会	第2回幹事会、研修会(第1回)
10月14日(土)	第3回常任幹事会	研修会(第2回)
12月2日(土)	第4回常任幹事会	研修会(第3回)
令和6年1月13日(土)	第5回常任幹事会	第3回幹事会、研修会(第4回)
3月9日(土)	第6回常任幹事会	研修会(第5回)
4月13日(土)	第7回常任幹事会	第4回幹事会、研修会(第6回)
6月14日(金)	令和6年度支部定期総会	(役員改選)

表-2 常任幹事会、幹事会の日程

② 支部財政の見通しについて

神奈川支部の会員数は8月末で177名、事業部会会員数は47名(安全33名、衛生12名、共有2名)となっています。

新たな神奈川支部への入会者が15名おられますので、令和5年9月30日(土)に支部新入会員ガイダンスを開催して、神奈川支部活動の説明を行います。その後、新入事業部会員に対する教育

を10月以降に開催して、事業部会への加入を推奨していきます。昨年度は、6名の方が新しく事業部会に加入され、現在事業部会活動に参加して活躍されています。

③ 総会その他の業務に関する支部活動報告

「神奈川支部定期総会」、「本部定時総会」、「業務連絡会」、「推進大会」について

『神奈川支部定期総会・情報交歓会』

令和5年6月16(金)にワークピア横浜にて開催されました。支部定期総会の開催に先駆けて、神奈川労働局による特別講演として、労働基準部安全課主任地方労働安全専門官西村恭一様、健康課長畑野俊様から、今年度から始まった「第14次労働災害防止計画等」について説明がありました。

また、4年ぶりに情報交歓会を開催し、多くの会員が参加され、親睦を深めました。

『コンサルタント会本部定時総会・情報交歓会』

令和5年6月28日(水)に、東京神保町の学士会館において開催されました。神奈川支部からは、7名が参加しました。また、コンサルタント会本部長功績賞として、神奈川支部会員の「前山勝己氏(安全)」、「矢崎麻純氏(衛生)」が受賞されました。

『業務連絡会(第1回目)』

令和5年7月14日(金)に、神奈川労働局労働

基準部の安全課ならびに健康課と「第14次労働災害防止計画等」、「神奈川労働局管内の労働災害の現状等」について、神奈川支部幹部と情報交換を行いました。第2回の業務連絡会は、2024年2月頃行う予定です。

『全国安全週間、全国労働衛生週間推進大会』

神奈川労働局管内の12か所において、公益社団法人神奈川労務安全衛生協会の主催で、7月に全国安全週間推進大会が、9月に全国労働衛生週間推進大会が開催され、多くの神奈川支部会員が参加し、広報活動を行いました。

④ 支部ホームページ運用管理について

神奈川支部ホームページは、ホームページ運営チームメンバーを中心に、日々情報提供の適宜な更新に努め、活かした情報提供サイトを目指し運営しております。

研修委員会報告

副支部長・研修委員長

竹内 春樹

令和4度も新型コロナウイルス感染の拡大が続いていたことから、研修委員会の活動も新型コロナウイルス感染以前と同じような活動が出来ない状況でした。研修委員会として当初予定していた活動と現在までの実施状況、そしてこれからの計画をご説明します。

① 支部研修会

1) 昨年度(令和4年度)の支部研修会

研修委員会の主だった活動である研修会は、「かながわ労働プラザ」での対面及びオンラインの併用方式で5回(各回無料)を計画し、実施しました。各回の研修会は、新型コロナウイルス感染症前の形式である新入事業部会員の紹介プラス研修2テーマの構成とし、昨年度から増えた新入支部会

員への情報提供の観点から、今後労働安全コンサルタント、労働衛生コンサルタントとして活動するためにヒントとなる講演や最近の法令改正に関する講演を内外の講師のご協力を得て実施しました。研修会には、毎回40名を超える方々が受講され、毎回多くの質疑があるなど盛況でした。

また、昨年度コロナの影響で控えていた研修会後の情報交換会も行いましたが、毎回当日の講師も交え多数の受講者も参加され、非常に有益な時間を共有できたのでは、と考えています。

2) 今年度の支部研修会

今年度の支部研修会は、昨年度と同様に対面及びオンラインでの併用方式で、昨年度と比べ1回多い6回行う計画をしております。この各回の構成は、新入事業部会員の紹介プラス研修2テーマとし、研修のテーマ・内容は、支部会員の参考になるよう石綿関係法改正、新たな化学物質管理の規制や第14次労働災害防止計画に関するものなど旬なものを企画・提供したいと考えております。

なお、研修会参加費用は、対面、オンライン共3,000円とさせていただきます。(新型コロナウイルス感染症前の研修会参加費用は、3,500円としておりました。)今年度以降の研修会のテーマや見学したいご要望の施設などございましたら研修委員会までご連絡ください。

② 新入支部会員への支部ガイダンス

昨年度は、新型コロナウイルス感染影響が少なくなった令和4年9月24日に神奈川支部に入会された会員14名に対し、支部及び事業部会の活動状況などについてガイダンスを実施しました。今年度も令和5年9月30日に、神奈川支部に新たに入会された13名(令和5年8月末時点)の方々を対象に、支部ガイダンスを実施する予定です。

③ 新入事業部会員教育

昨年度は、令和4年11月26日に新たに事業部会員となられた6名(労働安全コンサルタント5名及び労働衛生コンサルタント1名)の方々に対して、コンサルタント業務に関する研修会を実施しました。今年度も、令和5年11月18日に新入事業部会員研修を行う予定ですが、新入支部会員への

支部ガイダンスの機会などを捉え、1人でも多くの方が事業部会に入会されることを期待しています。

④ 施設見学会

昨年度は、新型コロナウイルス感染の影響もあり中止としました。見学会は会員の現場研鑽に役立つものであるため、新型コロナウイルス感染の影響や見学受け入れ先企業の動向も勘案し、見学会実施の可否を探っていきます。

⑤ 研究会活動

今年度より、化学物質規制が本格的に始まることに伴い、新たに「化局研究会」(化:化学物質、局:局所排気装置の略)が発足し、活動を開始しました。その他、新規の研究会活動のご提案をお待ちしております。

以上が、研修委員会の報告ですが、支部会員の皆様におかれましては、今後聞きたい研修テーマや見学したい施設などございましたら、研修委員会までご連絡くださるようお願いいたします。

また、今年度行う研修会・情報交換会には、皆様奮ってご参加ください。

第1回支部研修会	令和5年9月 2日(土) 午後開催
第2回支部研修会	令和5年10月14日(土) 午後開催
第3回支部研修会	令和5年12月 2日(土) 午後開催
第4回支部研修会	令和6年1月13日(土) 午後開催
第5回支部研修会	令和6年 3月9日(土) 午後開催
第6回支部研修会	令和6年 4月13日(土) 午後開催

表-3 令和5年度支部研修会の開催予定(対面+オンライン併用)

今年度は神奈川支部より、2名が会長功績賞を受賞されました

【前山勝己会員より受賞のコメントを頂きました】

この度の会長功績賞受賞は、諸先輩のご指導とコンサルタント仲間のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。平成15年に試験合格(安全土木)し登録、平成16年に本会入会、支部活動面では平成25年から旧支部理事として支部運営に関わらせて

いただき、後に支部常任幹事、副支部長として総務担当、現在は支部監事を担当しております。

会社退職の平成25年までは、支部研修会と情報交換会に参加して事業部員の方々に顔を覚えていただき縁あって先輩コンサルのOHSMS出版物の執筆に参画、またOHSMS内部監査員教育の講

師に加えていただく機会がありました。退職後の平成26年から5年間県内労基署に石綿届出等点検指導員、計画届審査員(非常勤)として働き、傍ら先輩の指導のもと貨物運送業、小売業、社会福祉施設等の安全衛生診断業務、また食品製造、通信、清掃、港湾荷役業等の事業場の安全衛生改善活動支援業務に携わってきました。

また、事業部活動の一環としてコンサル仲間有志で「職場環境改善チーム」を編成し主に公務災害防止の支援活動として自治体を訪問し教育委員会や給食課の安全衛生教育に協力してきました。

現在「農作業安全アドバイザー」として農業法人圃場作業の安全指導、また建災防のCOHSMS評価者として建設事業場の安全衛生水準向上のお手伝いをさせていただいています。コンサルタント業務においては、異業種の職場を訪問する機会が多くあり、自ら幅広く情報を入手することが必要になりますが、先輩のアドバイスやコンサル仲間の情報に助けられることも多く感謝しております。今後ともご指導、ご支援よろしくお願いたします。

【矢崎麻純会員より受賞のコメントを頂きました】

この度は会長功績賞を頂き、誠にありがとうございました。また、ご推薦を頂いた吉久支部長に感謝



申し上げます。

2011年に事業部に入部し、当時はコンサルタント業務そのものが分からず過ごしておりましたが、入部後先輩のコンサルタントの先生方の指導を受けて、安全衛生診断やリスクアセスメント、顧問事業所のコンサル業務等を行ってまいりました。

振り返ると事業部入部がわたくしのコンサルタントへの第一歩であり、事業部の皆様が恩師であり、同僚であり、素敵な仲間たちであり、まもなく迎える神奈川支部設立50周年に立ち会えることに幸せを感じています。今後は微力ではありますが、保健衛生コンサルタントとしての実績を重ね、皆様のお役に立てますよう励んでまいります。引き続きご指導の程よろしくお願申し上げます。

《神奈川支部会員、事業部会員の皆様へのお願い》

知人・友人・後輩等の中で労働安全衛生コンサルタントの資格を有している方がおられましたら、是非神奈川支部への入会、支部事業部会への入部の声掛けを、また、紹介情報でも結構ですので、よろしくお願いたします。

事業部会 部会長 藤原 政志

《編集後記》

今回の支部ニュース第47号は、令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症が、第2類から5類に変更されたことより、令和元年度以降4年ぶりに、ワークピア横浜で開催された「神奈川支部定期総会」「情報交歓会」「神奈川労働局による特別講演会」を中心に掲載しました。また、コンサルタント会会長功績賞を受賞された「前山勝己会員」「矢崎麻純会員」から頂いた受賞のコメントを紹介いたしました。会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザには、十分注意を払い、コンサルタント活動を進めていきましょう。(編集委員一同)